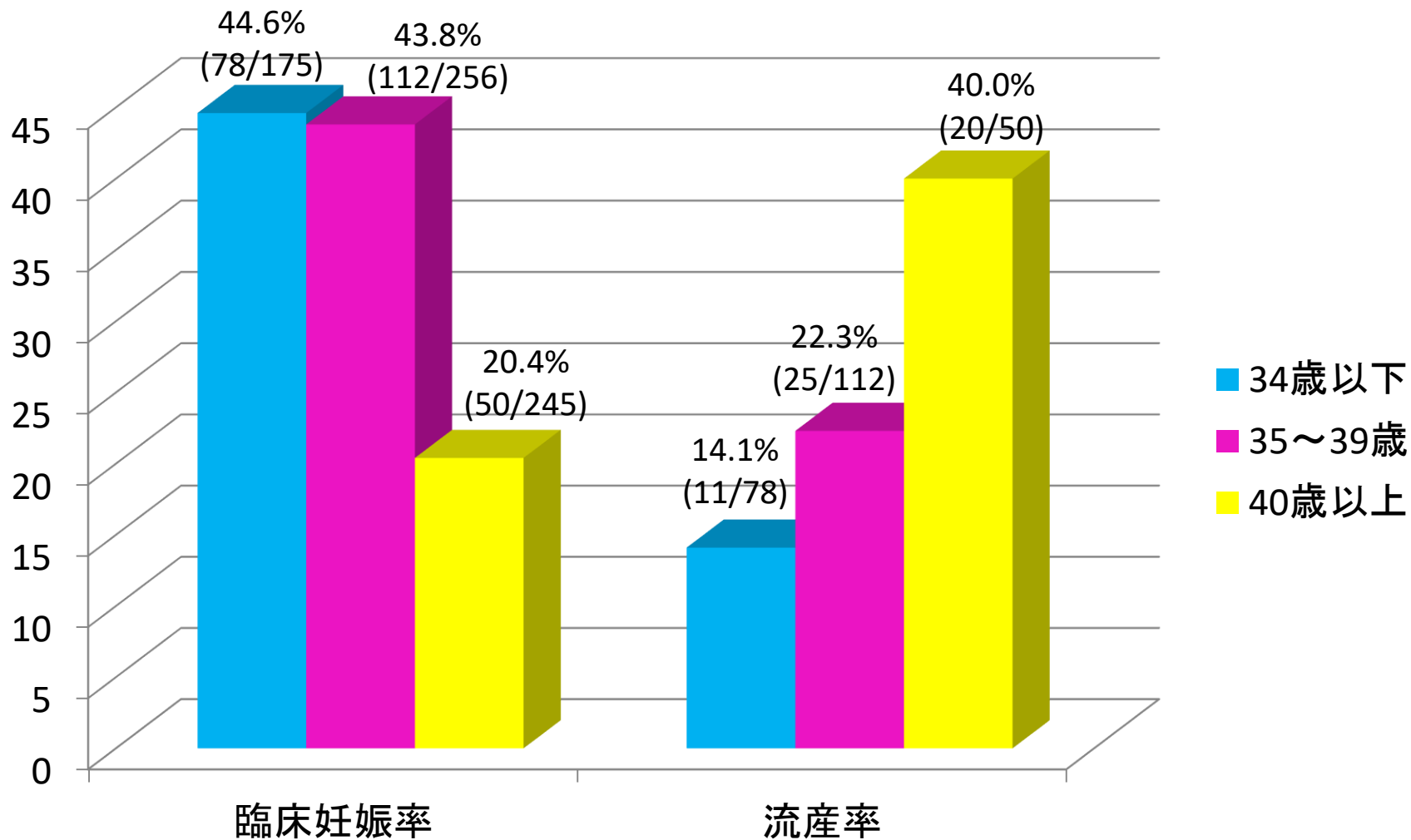
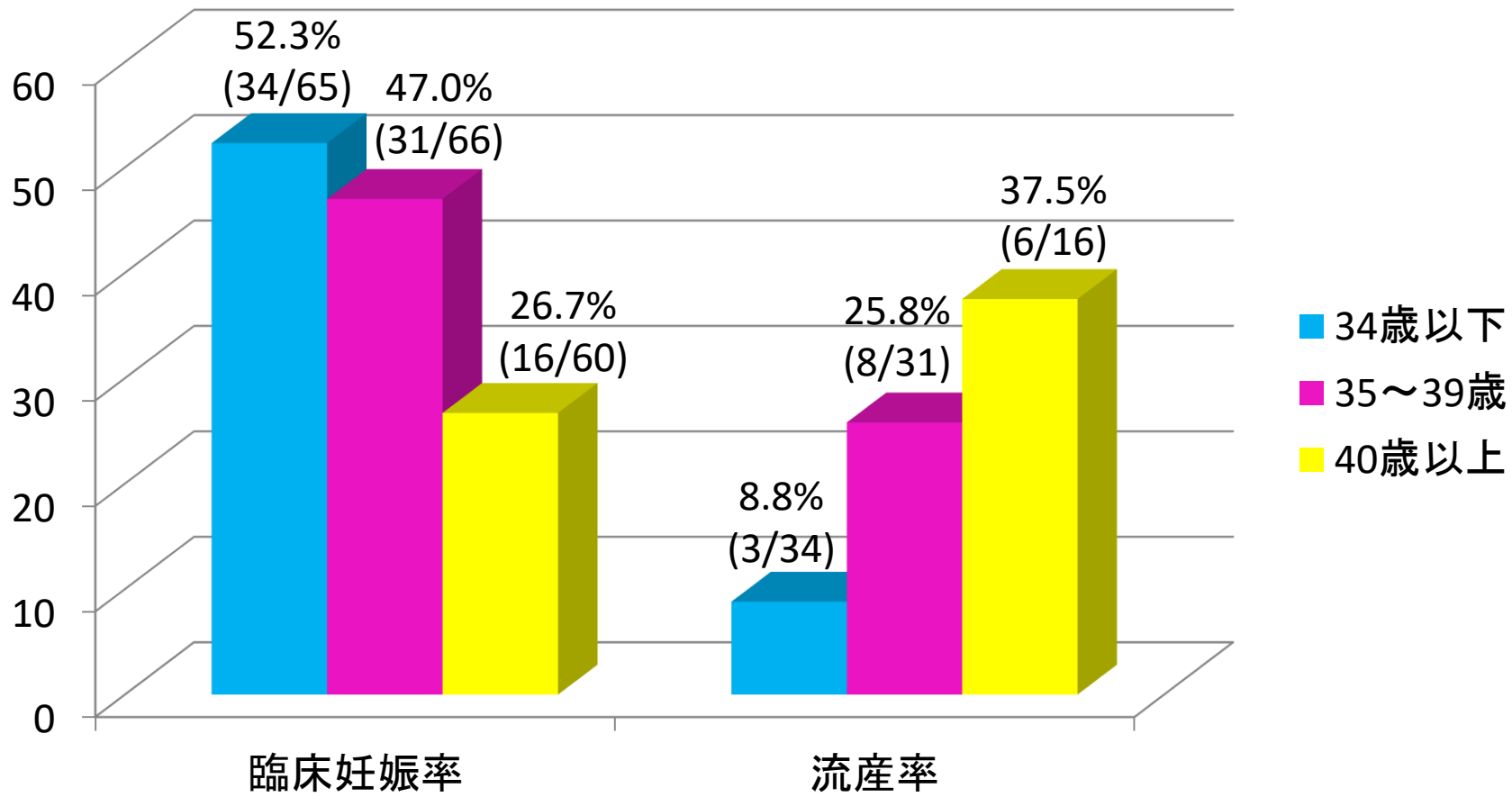


2014年の年齢別妊娠率および流産率

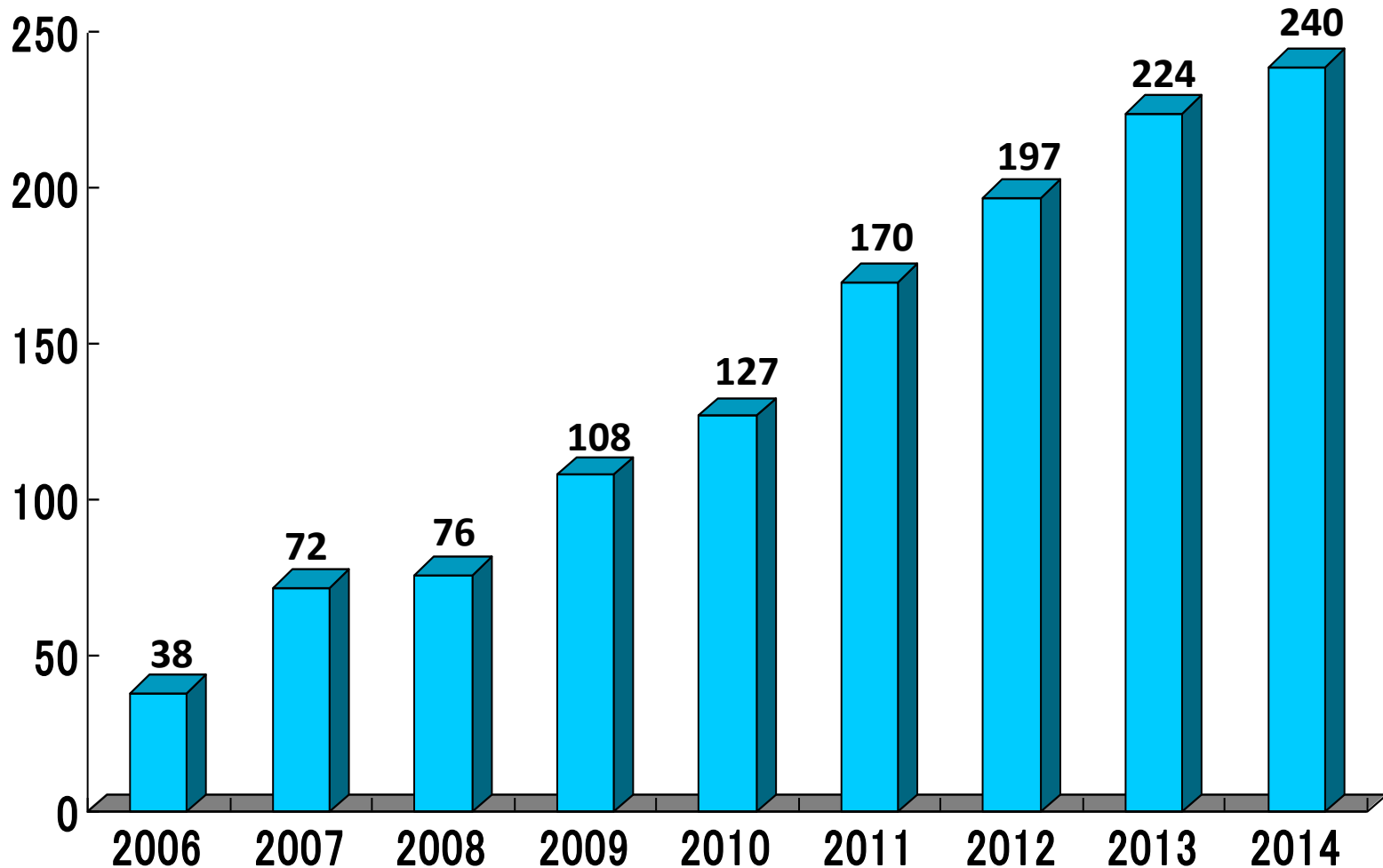


胚移植初回症例における2014年の 年齢別妊娠率および流産率



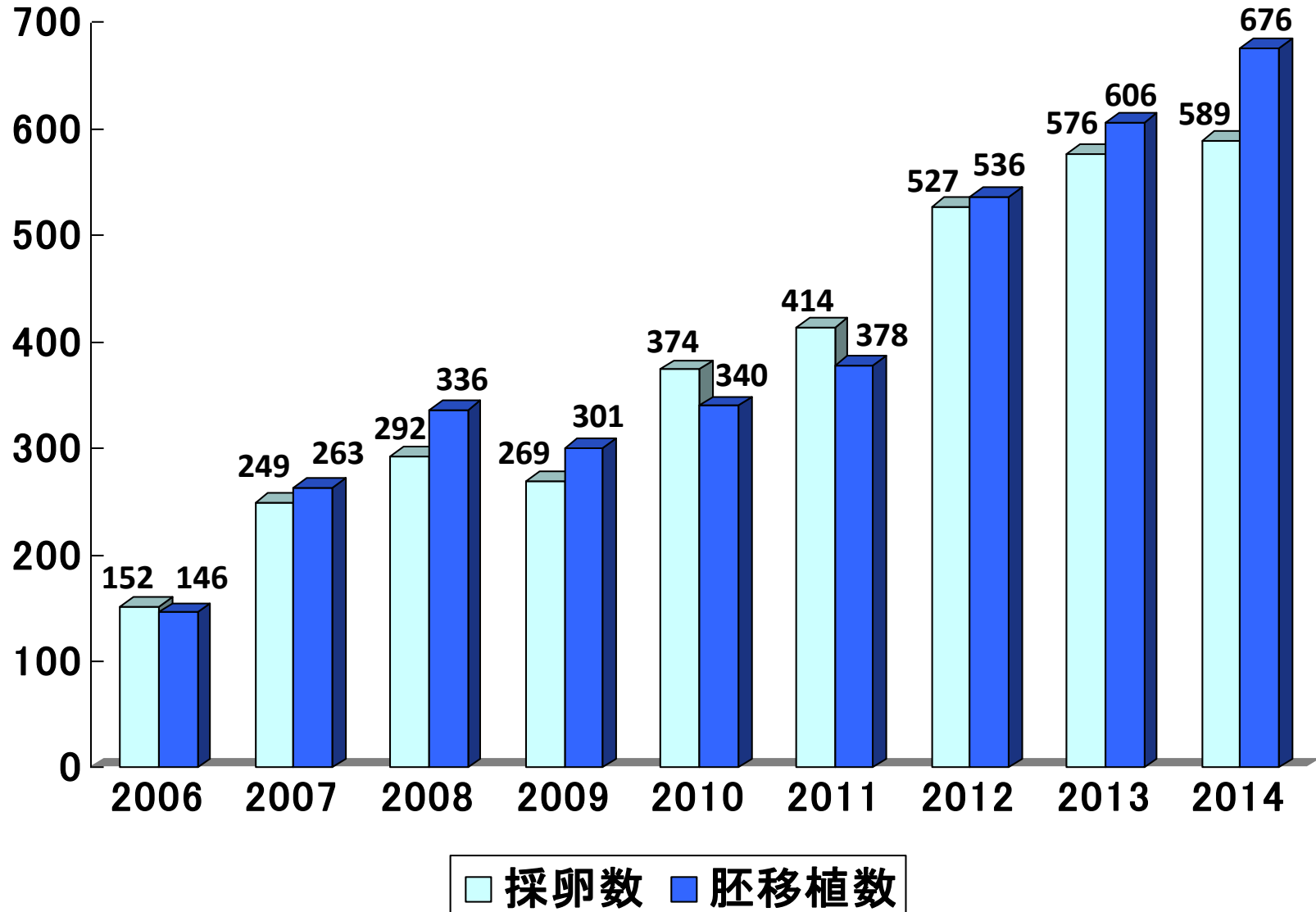
年別、臨床妊娠数(胚移植あたり)

年間臨床妊娠数は毎年増加しており、2014年は240名に達しました。
(臨床妊娠数は、超音波検査にて子宮内に胎嚢を確認した症例です。)



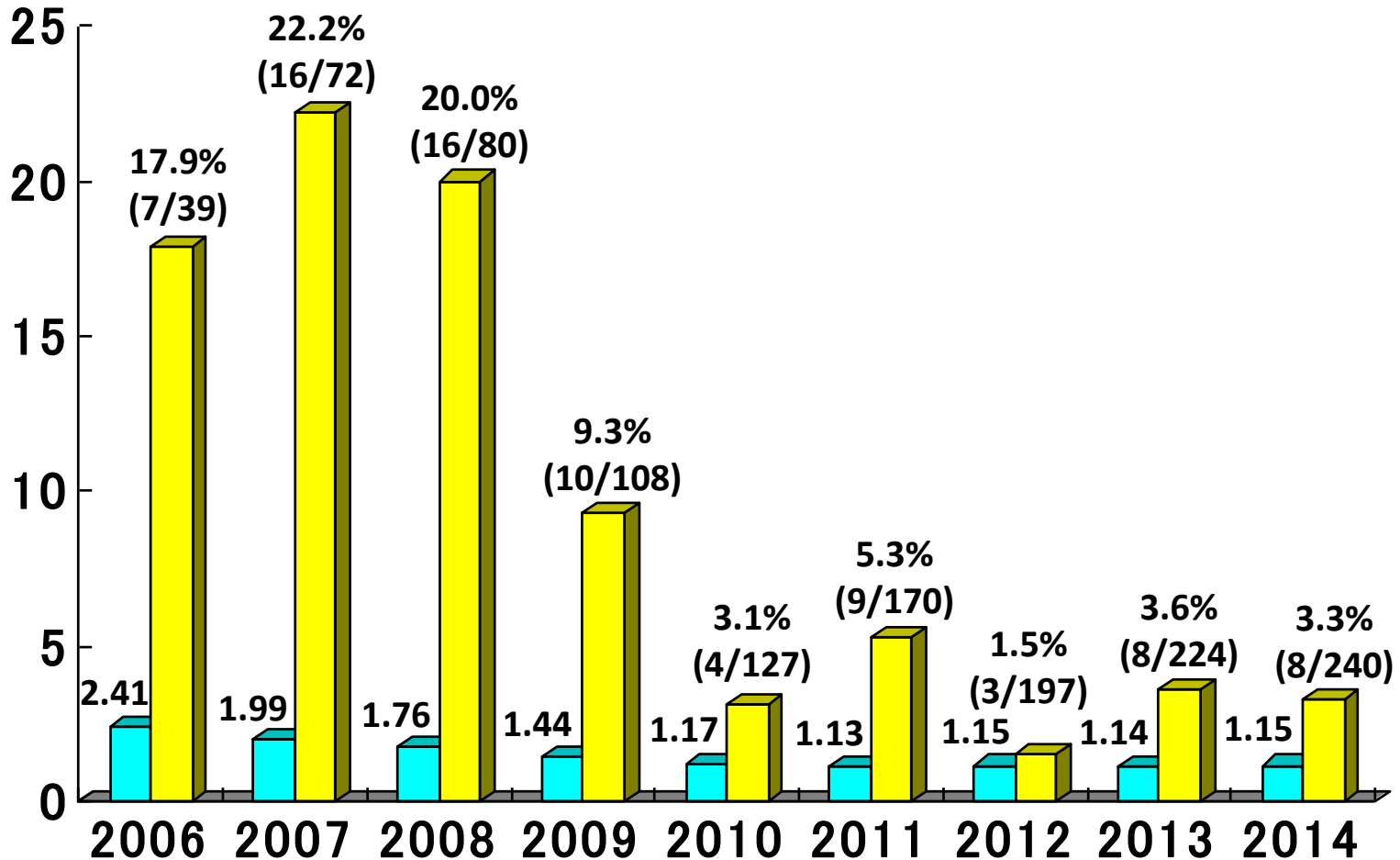
採卵数と胚移植数の年次推移

年間採卵数と胚移植数は毎年増加しており、2014年は採卵数が589例、胚移植数676例とこれまでの最大数に達しました。



平均移植胚数と妊娠当りの多胎妊娠率の年次推移

平均移植胚数は毎年減少しておりましたが、2010年からは横ばいとなっています。
多胎妊娠率も、低値を維持しています。



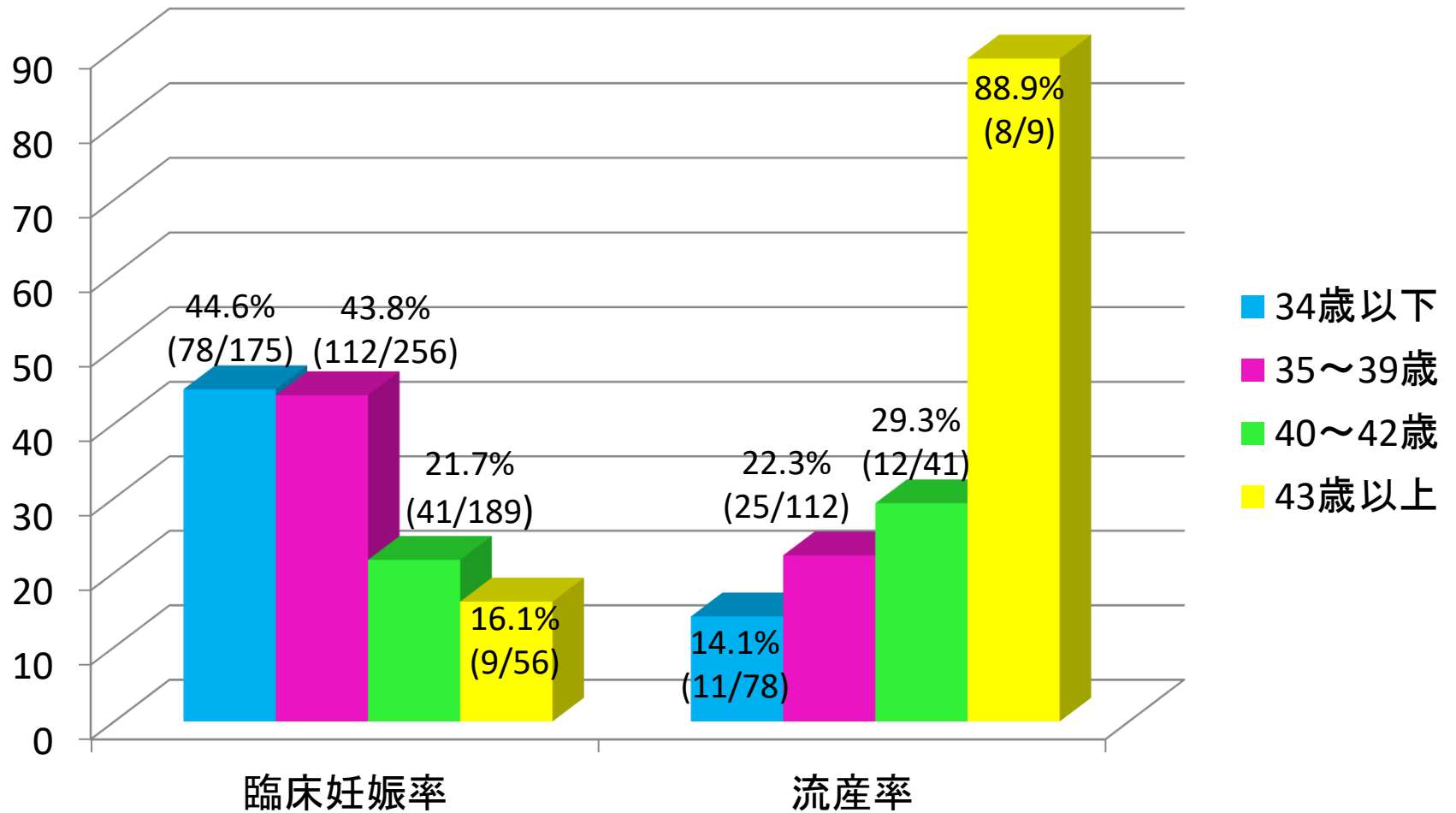
■ 平均移植胚数 ■ 多胎妊娠率

2014年 ART治療成績

- ・採卵数:589周期
 - 体外受精...239周期・顕微授精...321周期・
 - 体外受精＋顕微授精...29周期
- ・胚移植:676周期(新鮮胚移植 86周期、
凍結胚移植 590周期)
 - 平均移植個数 1.15 ± 0.40 個
 - 平均年齢(胚移植あたり) 37.3 ± 4.3 歳
- ・妊娠:240周期(妊娠率:35.5%)
 - (34歳以下 44.6%、35～39歳 43.8%、
40～42歳 21.7%、43歳以上 16.1%)
- ・妊娠反応陽性率:41.7%(妊娠反応陽性数 282例)
- ・多胎妊娠率:3.3%(多胎妊娠数 8例)
- ・流産率:23.3%(流産数 56例)

- ・タイミング療法:妊娠数 141例
- ・人工授精:症例数 973周期 妊娠率:9.1%(89例)

2014年の年齢別妊娠率および流産率



胚移植初回症例における2014年の 年齢別妊娠率および流産率

